

2022年8月25日

株式会社三菱UFJ フィナンシャル・グループ
株式会社三菱UFJ銀行
三菱UFJ信託銀行株式会社
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

MUFG ウェルスマネジメントにおける投資戦略ハウスビュー高度化について

株式会社三菱UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 亀澤 宏規^{かめざわ ひろのり}、以下 MUFG）、株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一^{はんざわ じゅんいち}）、三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長 長島 巖^{ながしま いわお}）および三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 小林 真^{こばやし まこと}、以下 三菱UFJモルガン・スタンレー証券）は、主に富裕層のお客さまへ最適な資産運用アドバイスを提供するため、ウェルスマネジメントの投資戦略ハウスビュー^[1]を高度化いたします。具体的には、三菱UFJモルガン・スタンレー証券への共同出資パートナーである米国モルガン・スタンレーおよび MUFG 各社のリサーチ情報・知見を活用するほか、リサーチ体制の強化を目的に組織体制の変更を行います。

MUFG は、“MUFG ウェルスマネジメント” というグループ共通のブランドを掲げ、お客さまのさまざまなライフステージにおける真の豊かさを実現できるよう、グループ一体となりウェルスマネジメントサービスを提供しております。

MUFG ウェルスマネジメントでは、お客さまの資産運用の道しるべとして、MUFG 独自のハウスビューである投資戦略レポート「Global Macro & Asset allocation Perspectives（以下、GMAP^{ジーマップ}）」を策定していますが、今般、GMAP の更なる高度化を図るべく、下記対応を実施いたしました。

1. 米国モルガン・スタンレーおよび MUFG 各社のリサーチ情報・知見の活用

GMAP は、従前、三菱UFJモルガン・スタンレー証券のリサーチ情報や知見を中心に策定していましたが、今後は、グローバルにリサーチ体制を有する米国モルガン・スタンレー、および、ウェルスマネジメントビジネスで定評のあるモルガン・スタンレーウェルスマネジメントのリサーチ情報・知見も広く活用してまいります。また、MUFG 各社のリサーチ情報・知見も取り入れることで、マクロ経済環境分析など運用方針決定に重要な情報の質を高め、よりの確な運用方針を策定することで、GMAP の一層の高度化を目指します。

2. 組織体制の変更

- (1) 三菱UFJモルガン・スタンレー証券、及び MUFG でのウェルスマネジメントリサーチ部新設
三菱UFJモルガン・スタンレー証券リサーチ部から GMAP 作成に特化するチームを独立させ、三菱UFJモルガン・スタンレー証券ウェルスマネジメントリサーチ部を設置いたしました。また、三菱UFJモルガン・スタンレー証券ウェルスマネジメントリサーチ部の管理を目的に、MUFG に MUFG ウェルスマネジメントリサーチ部を設置しております。

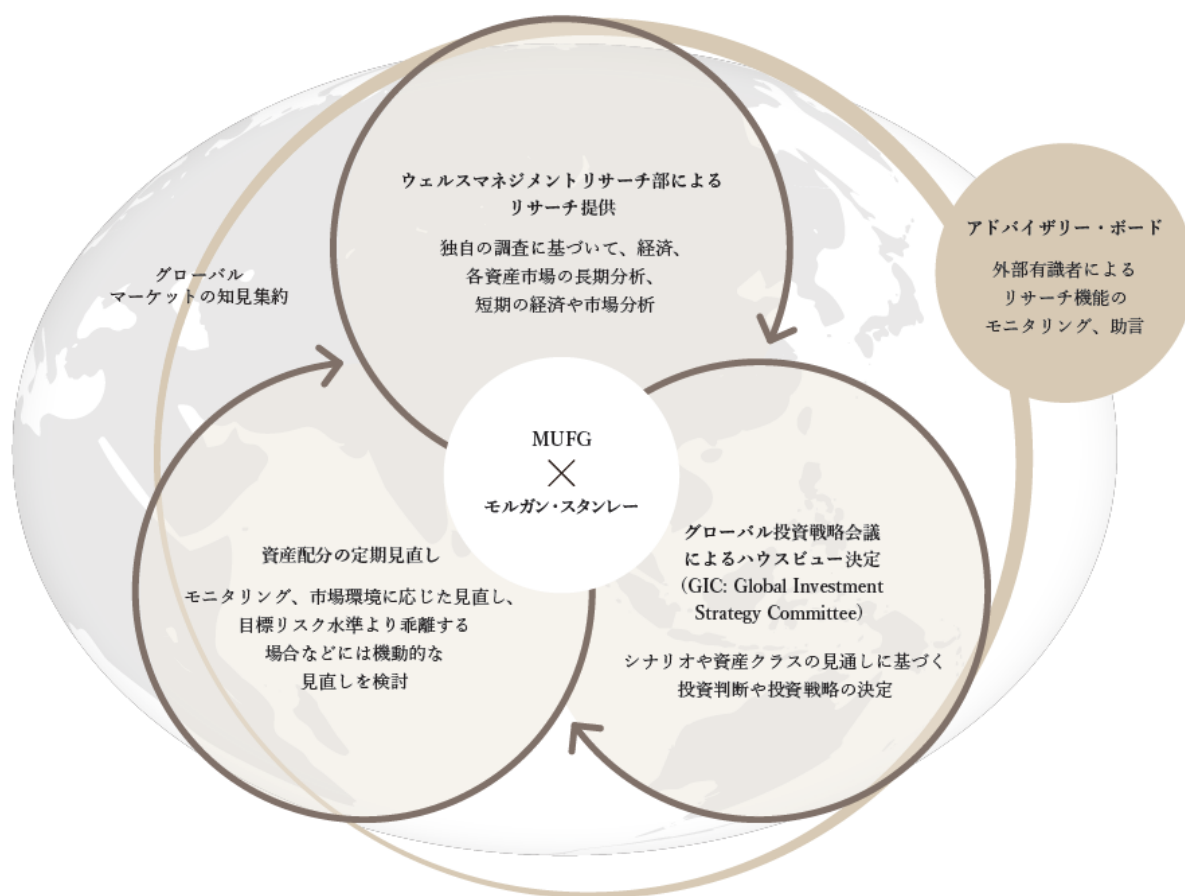
(2) 「アドバイザーボード」および「年次総会」の開催

MUFG ウェルスマネジメントリサーチ部では、「アドバイザーボード」および「年次総会」を新設し、その開催を主導いたします。

「アドバイザーボード」とは、中立の立場から GMAP の策定過程をモニタリングすることを目的に、経済やファイナンス理論、法務など見識の高い外部の著名な専門家を招聘した委員会です。また、「年次総会」は、GMAP 策定に係る年間運用報告の実施や、「アドバイザーボード」によるモニタリング結果やアドバイス、その対応結果の報告とともに、次年度方針に係る改善点などの意見交換を行うことを目的としております。

今回の対応により、GMAP の策定過程における米国モルガン・スタンレーとの綿密な情報・知見交換を通じて、投資戦略の基盤となるグローバル情勢をいち早く反映した GMAP のご提供が可能となります。MUFG は、一層充実した GMAP をもとに、富裕層のお客さまを中心とする資産運用サービスの更なる改善、運用商品選定の最適化を図り、ウェルスマネジメントビジネスにおける競争力の向上と、より一層信頼・信用いただけるサービスの実現につなげてまいります。

[1] ハウスビューとは、資産運用における組織としての公式な「投資見解」を指します。国内外の経済情勢や金融政策について専門家が分析し、その見地からのくわしい解説や、分析結果を踏まえた資産配分例、投資戦略を掲載しています。資産運用に関するさまざまな情報が掲載されているため、投資について判断をくだす際の参考資料としてご活用頂けます。



以上